



うるおい豊かな

平成18年度 出雲市芸術文化事業

まちづくり

顕彰式を開催

2人と
3団体に
出雲市市民
文化賞

4団体に

21世紀文化活動
奨励事業

社会活動分野

めめの会 (大津町)

平成3年、女性の立場から、大津のまちづくりに参加したいと意欲のある地域の女性有志で創立しました。現在、34人で活動し、「学ぶ」「働く」「楽しむ」の三原則のもと、お年寄りや子どもへのボランティア活動を行っています。今後は各種団体と連携し、「出雲弥生の森」を中心に、食育・古里づくりに力を入れた活動を行う予定です。

この活動をとおして、家族、地域の絆が深まり、交流の場が広がるとともに、男女共同参画によるまちづくりの発展、向上に功績がありました。

セーフティ大社運動実行委員会 (大社町)

大社町を訪れた観光客を安全に迎え、住民の安全な生活を確保するため「日本一安全な町・大社」を合言葉に平成2年にスタートしました。

当時の暴走族の実態を受け、今までの交通安全対策を超えた多面的な活動を展開。交通事故防止、暴走族・犯罪・暴力団対策、少年の非行防止と健全育成活動、その他多岐にわたる住民の立場にたった交通安全運動を展開しています。

交通安全対策について、地区住民や警察と一丸となって取り組み、住民の安全確保を果たしています。

平成18年度(2006) 出雲市芸術文化事業顕彰式



市民文化賞

文化の振興を通じた豊かで潤いのあるまちづくりを進める出雲市。3月7日の出雲市芸術文化事業顕彰式で、市の文化創造に多大な貢献のあった2人と3団体に対し、出雲市市民文化賞を贈りました。

市民文化賞受賞者の皆さん(左から中筋知巳さん、田邊達也さん、日御碕剣友会代表、めめの会代表、セーフティ大社運動実行委員会代表)

文化活動分野

中筋 知巳さん (大社町)

平成5年、大土地神楽保存会神楽方会長に就任後、海外公演を成功に導きました。「大社の史話」に神楽の伝統を紹介し、保存の大切さを啓発するとともに、近年舞わなくなった演目を研究して復活。平成15年に全国民俗芸能大会に出演して全国に紹介し、平成17年には国の「重要無形民俗文化財」指定に尽力しました。

平成18年10月に勇退後、現在は、会の相談役として、定例会や稽古に参加し、神楽保存の助言、後輩へ舞いや囃子の指導にあたっています。

教育活動分野

田邊 達也 (今市町北本町)

出雲おやじの会事務局長、出雲警察署主任少年補導員、島根県薬物乱用防止指導員、ガールスカウト日本連盟島根県第3団育成会長、NPO法人21世紀出雲産業文化支援センター副理事長、(財)出雲市教育文化振興財団理事、出雲観光協会理事、NPO法人出雲スポーツ振興21理事など、さまざまな分野で多岐にわたり積極的に活動しています。

出雲の教育(青少年健全育成)産業・文化・観光などの発展、向上に大きな功績を果たしました。

体育活動分野

日御碕剣友会 (大社町)

昭和32年に剣道をととした青少年健全育成を目指して結成。基本を中心とした剣道で、少年の部は全国大会出場30回以上を数えるとともに、同会を巣立った卒業生は、現在も剣道を続け、指導的立場で活躍しています。

毎週4回以上の稽古で、年10回以上の大会に出場。地域ぐるみで礼儀を重んじる人間形成に努め、地域との連携による自主的な活動も実践しています。

21世紀文化活動奨励事業

市民団体が主体的に企画し、実践する教育文化活動または社会貢献活動を支援することにより、21世紀の出雲市を担う人材の育成を図っています。今年度、助成を受けたのは次の4団体です。

コロボックル

(代表: 佐藤禎子)

平成7年から開催している「たいしゃ芸術文化祭」を中心に、演劇やコンサートなどの芸術文化をとおして、子どもたちの夢を広げ、感性豊かな人を育てることを目標に活動を続けています。

読み聞かせボランティア

さくらんぼ(代表: 大谷直美)

佐田地域の小学校2校で、毎週全学年に朝の読み聞かせを実施しています。学年に応じた本を読むことで、読書の楽しさを伝えています。

要約筆記サークル

「いずもかけはし」(代表: 岩崎修子)

難聴者・中途失聴者の耳代わりとして、各種会議・講演会・医療行政機関などでの会話などの場面において、会話を要約して筆記し、健聴者との意思疎通支援を行うボランティア団体です。

一畑の杜コンサート実行委員会

(代表: 田中浩史)

平田地区の音楽愛好家が集まり「一畑の杜コンサート実行委員会」が発足しました。ホールではなく、一畑寺観音堂を会場に、日本を代表するNHK交響楽団から奏者を招き、年1回コンサートを開催しています。

芸術文化顕彰式についてのおたずねは / 芸術文化振興課 (TEL 21 - 6514)